

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 令和4年9月26日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	アルドステロン CLEIA/レニン活性比	アルドステロン CLEIA/レニン定量比
検査コード	2523	2524
JLAC10	4D120-0000-022-919-02	4D122-0000-022-919-02
TFAコード	17450000	17460000
検体量	血漿 1.2mL	血漿 1.0mL
保存・容器	必凍・E1→A2	
実施料(判断区分)	未収載	
所要日数	4～6日	
検査方法	計算法	
基準値	【原発性アルドステロン症診療ガイドライン 2021】より	
	ARR: アルドステロン (CLEIA) /レニン比 PAC: 血漿アルドステロン PRA: レニン活性 PAC (CLEIA) /PRA 比 (ARR) ≥ 200 かつ PAC (CLEIA 法) $\geq 60\text{pg/mL}$ で陽性と判定。ただし、CLEIA 法による測定値が普及、一般化し CLEIA 法による至適カットオフ値が確立するまでは、ARR 100~200 を「ARR 境界域」とし PAC (CLEIA 法) $\geq 60\text{pg/mL}$ を満たせば、暫定的に陽性とする。	ARR: アルドステロン (CLEIA) /レニン比 PAC: 血漿アルドステロン ARC: レニン定量 PAC (CLEIA) /ARC 比 (ARR) ≥ 40 かつ PAC (CLEIA 法) $\geq 60\text{pg/mL}$ で陽性と判定。ただし、CLEIA 法による測定値が普及、一般化し CLEIA 法による至適カットオフ値が確立するまでは、ARR 20~40 を「ARR 境界域」とし PAC (CLEIA 法) $\geq 60\text{pg/mL}$ を満たせば、暫定的に陽性とする。
実施施設	ビー・エム・エル	

《備考》

日本高血圧学会の「高血圧治療ガイドライン 2019」に準拠したカットオフ値をご使用の際は、「コード 2532: アルドステロン/レニン活性比」または、「コード 2534: アルドステロン/レニン定量比」をご依頼ください。ただし、上記項目との同時依頼および追加は不可となりますので、ご注意願います。